

疾患別診療計画書

顎下腺摘出・切除術を受けられる方へ

	入院・術前日	手術日	術後1日	2日	3日	4日	退院
治療 検査		朝の診察時、手術側の首元または手背にマジックで印をつけます。 手術室へ行く前に弾性ストッキングを履いて下さい。 午後の手術の場合は、午前中に点滴を入れます。 帰宅後は、酸素を4時間します。 術後、尿の管が入ってきます。 	毎朝、病棟の診察室で診察があります。				
		顔面神経麻痺がおこることがあります。口唇（特に下唇）の動きが悪い、水が口の端からこぼれる等あったらお知らせください。 味覚障害、舌の動きが悪いなどあったらお知らせください。 創部に排液のための管が入ってきます。排液量と傷の状態ですぐに抜去します。	術後1日目の朝10時まで点滴を行います。		創部の保護のため、保護用テープを貼ります。 1階売店でテープ（マイクロポア）を購入してください。		
食事	手術前日21時禁食のため食べ物を食べることはできません。	飲水は午前3時まで可能です。 それ以降は飲んだり食べたりできません。 帰宅4時間後より、むせりがなければ飲水を始めます。	朝から食事が始まります。				
安静	特に安静の必要はありません。	帰宅後4時間は、ベッド上安静です。 ベッド上排泄となる為、ナースコールでお知らせください。 帰宅後4時間後より、トイレ歩行ができます。 初回トイレ時はナースコールでお知らせください。	特に制限はありません。				
清潔	午前入院：シャワーにお入りください。 午後入院：自宅で入浴を済ませてきてください。 前開きパジャマにお着替えください。		お体を拭きます。 		排液の管が抜けたらシャワー・洗髪ができます。		
説明	<ul style="list-style-type: none"> 病棟の構造について 入院中の過ごし方について 必要物品について 手術について 麻酔科診察をされていない方は麻酔科診察があります。 薬剤については薬剤師より説明があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術終了後、医師より説明があります。ご家族の方には手術が終わるまで病棟でお待ちいただけます。 病院用PHSをお渡ししますので病棟でお待ちください。 	【退院後の留意点】 <ul style="list-style-type: none"> 退院後、しばらくの間は長湯・激しい運動・喫煙・飲酒・刺激物の飲食はお避け下さい。 次回外来までは、傷の茶テープを貼っておいてください。 定期受診を忘れずに受けてください。 気になる症状があれば早めに受診してください。 				